

こうとう民報

2014年 1月号 111

発行
こうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-mi-npo.jp/

江東区の職場・地域 議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。



新年おめでとございます。昨年末の秘密保護法の強行可決や年明けの靖国参拝など、安倍内閣の「戦争する国」づくりへの暴走に内外の批判が高まるなか、江東区議会でも小・中学校の卒業式への参列にあたって「日の丸に敬礼、君が代斉唱をしない議員には祝辞を述べさせない」と議長が言

暮らしの面でも、安倍内閣の社会保障切捨て政策のもとで4月からの消費税増税に加えて国保料、後期高齢者医療保険料の値上げな

区議団は区民生活応援の

力を合わせて頑張ります。

新年おめでとございます。



い出し、自民・公明・ことう50(旧みんな)・民主の議員が賛同するなど、憲法が保障する内心の自由を侵害し、民主主義を破壊する事態が起こりました。区政にも押し寄せています。

平和で、元気に暮らせる街に自治体の役割を

憲法をないがしろにし、

憲法と国民生活をめぐって、日本の進路が大きく問われている今年、早々に行動する都政での審判で安倍内閣の暴走にストップをかけ、区民要求の前進で、江東区が元気で活気あふれる街となるように、皆さんと力を合わせて頑張ります。

新年おめでとございます

日本共産党江東地区委員長 吉田年男



激動の年の幕開けに東京では都知事選挙です。前の知事時代14年間に都民福祉の削減で、医療・介護、保育園不足の待機児問題などで都民のくらしは悲鳴をあげ問題山積です。2月9日の都知事選は、壊された東京の福祉を立て直し、都政を都民の手に取り戻す絶好のチャンスです。さらに安倍政権の暴走政治をストップさせましょう。

日本共産党東京都議会議員 あげ上三和子



新年おめでとございます。昨年の都議選、参院選挙ではみなさんのご支援で議席を大きく前進させることができました。都議団は、都有地を活用し特養ホームや認可保育園の増設など早速提案し、公約実現にむけ活動をすすめています。昨年の11月に発覚した猪瀬氏の「徳洲会からのマネー疑惑」では、真相解明を求め百条委員会の設置の提案など、他党派を動かし猪瀬氏を辞任に追い詰めています。引き続き真相解明に頑張ります。都知事選挙では、都政の根本が問われています。また安倍政権の秘密保護法や消費税増税、原発再稼働など暴走政治に歯止めをかける大事な選挙です。「希望のまち東京」を実現するためにみなさんと力あわせ頑張る決意です。

騒 新年早々、日本列島と米大陸に最強の寒波襲来。列島の8割が氷点下。ナイアガラの滝まで凍結しました。昨年末、五輪招致が決まり有頂天だった猪瀬都知事が、5千万円の裏金疑惑で就任1年目で辞任に追い込まれました。都議会与党はそれを機に事件の幕引きをはかります。また、安倍首相が念願の靖国参拝を強行。昭和の殉難者としてA級戦犯を合祀する社殿への拝跪に、中国や韓国ばかりか米政府を含む国際世論の厳しい批判がつけつけられていまま「われらの一生のうち二度まで、言語に絶する非哀を人類に与えた」(国連憲章)第1次世界大戦勃発は百年前です。戦後は植民地体制が崩壊し、平和と民主主義をめざす地域共同体が世界の主流です。偏狭なナショナリズムによつて再び日本が孤立するのでは許すことができません。歴史と国際秩序に逆行する安倍政権が260億円の交付金で懐柔し、辺野古に建設しようとする2百年耐用の巨大な米軍基地の存在は、平和への脅威であり、日本を軍事的植民地という異常状態に固定する足枷です。「新基地反対、普天間返せ」と欧米29氏声明も訴えています。名護市長選に続いて首都決戦の勝利で暴政にストップを!

「水野忠邦と江東」

木場の仲間規定帳



概説 江東の歴史 (28)

1841(天保12)年、老中水野忠邦は定信の寛政改革よりきびしい天保改革をはじめました。物価ひきさげのために江戸十組問屋をすべて廃止。深川の米、油、材木問屋もすべて解散させられました。魚油の取引は3年後に5分の1以下に激減し、木場も破産する店が増え、多くの失業者もでてさびれてしまいました。

砂村の「はつもの」野菜も禁止され、「初物の茄子がない、胡瓜がない、隠元豆のもやしがない、白粉あんまり塗り手がない、此節師匠の花見がない、諸品下れど買い手がない、世間にねっから銭がない」など市民は過酷な統制を批判しました。

深川花街にも徹底した弾圧を加え、永代寺門前の料理茶屋は商売替えや新吉原へ移り、仲町一帯は衰えました。歌舞伎の江戸三座、中村座、市村座、森田座も風俗を乱すとして浅草に移されました。七代目団十郎が江戸から追放されたのもこの頃でした。

深川を舞台にした「春色梅児誉美」の為永春水、「偽紫田舎源氏」の柳亭種彦も弾圧され、1842年に春水は手鎖50日、種彦は2百俵取りの旗本だったので譴責処分ですみましたが、1ヵ月後に亡くなります。(切腹説も)

平野2丁目の浄心寺には矢部定謙の墓があります。1841年には江戸町奉行に出世していましたが、出羽庄内藩主の酒井家が転封をきらい、水野老中に3千両の賄賂をおくったことを摘発しようとして、逆に忠邦によって奉行を免職され、伊勢桑名藩へ預けられました。定謙はこれに抗議して断食、1843(天保14)年5月に餓死しました。

同年、水野忠邦も老中を罷免されます。彼の失脚を知った江戸市民は、忠邦の屋敷に打ちこわしをかけ、激しい投石をしました。

さよなら原発 報告集会

子どもたちが希望をもって暮らしていけるかは 大人たちの行動次第



現地視察の報告では、震災が発生した2011年3月11日15時38分のみで時間が止まってしまっている居住制限地域での町の様子が報告されました。津波の被害を受けて2階部分だけが残された建物や車

の残骸…。復興のスタート地点にすらたてていない状況がそこにはありました。現地を案内してくれたガイドさんによると「東京オリンピック招致が決まってから、現地(居住制限地域)を見せないという意識が強まっているのか、規制が強まっている」とのこと。

途中で訪れた学校では、子どもたちの荷物や自転車に登校した当時の状態で置かれていたのを目の当たりにして「いまなお避難を余儀なくされている子どもたちがたくさんいる。その子どもたちが希望をもって暮らしていけるかは、私たち大人たちの行動次第だと実感しました」と報告者から感想がだされました。

1月4日、消費税をなくす江東の会は、富岡八幡宮大鳥居前で全国の会、東京の会と共同での宣伝行動を15名の参加で行ないました。参加者は交代でマイクを握り、「4月からの消費税増税をやめさせ、暴走する安倍政権に待ったをかけましょう！」



訴えをするあぜ上都議



分は現地の人たちのために何もできていないが、どう支援していけるかを具体的に考え消費税をなくす会、署名宣伝行動、ストップ『増税』をすすめていこうと決意を固めた。『増税』をすすめていこうと決意を固めた。『増税』をすすめていこうと決意を固めた。

宣伝後に参加者たちは「安倍政権は国民は黙ってればいいと思ってるだろうが、そうはいかない！あきらめずに声をあげ続けていこう！」と交流しました。

増税 ストップ 『増税』をすすめていこうと決意を固めた

- 2月1日(土) 11時、『新春のつどい』サウスフラッグ集会所 江東健康友の会
○2月11日(火・祝) 11時、『江東母親大会』総合区民センター
○2月16日(日) 11時、『新春のつどい』総合区民センター・レクホール 江東生活と健康を守る会
○2月21日(金) 18時45分、『怒りの地域総行動』区民集会 猿江公園

○2月9日(日) 東京都知事選挙投票日

旧年中は、ご愛読いただきありがとうございました。『こうとう民報』のホームページも随時更新してまいります。ホームページや記事に対するご意見・ご要望をぜひお寄せください。お待ちしております。(※ホームページアドレスは1面に記載) 本年もどうぞよろしくお願いたします。 2014年 1月 こうとう民報編集委員会

